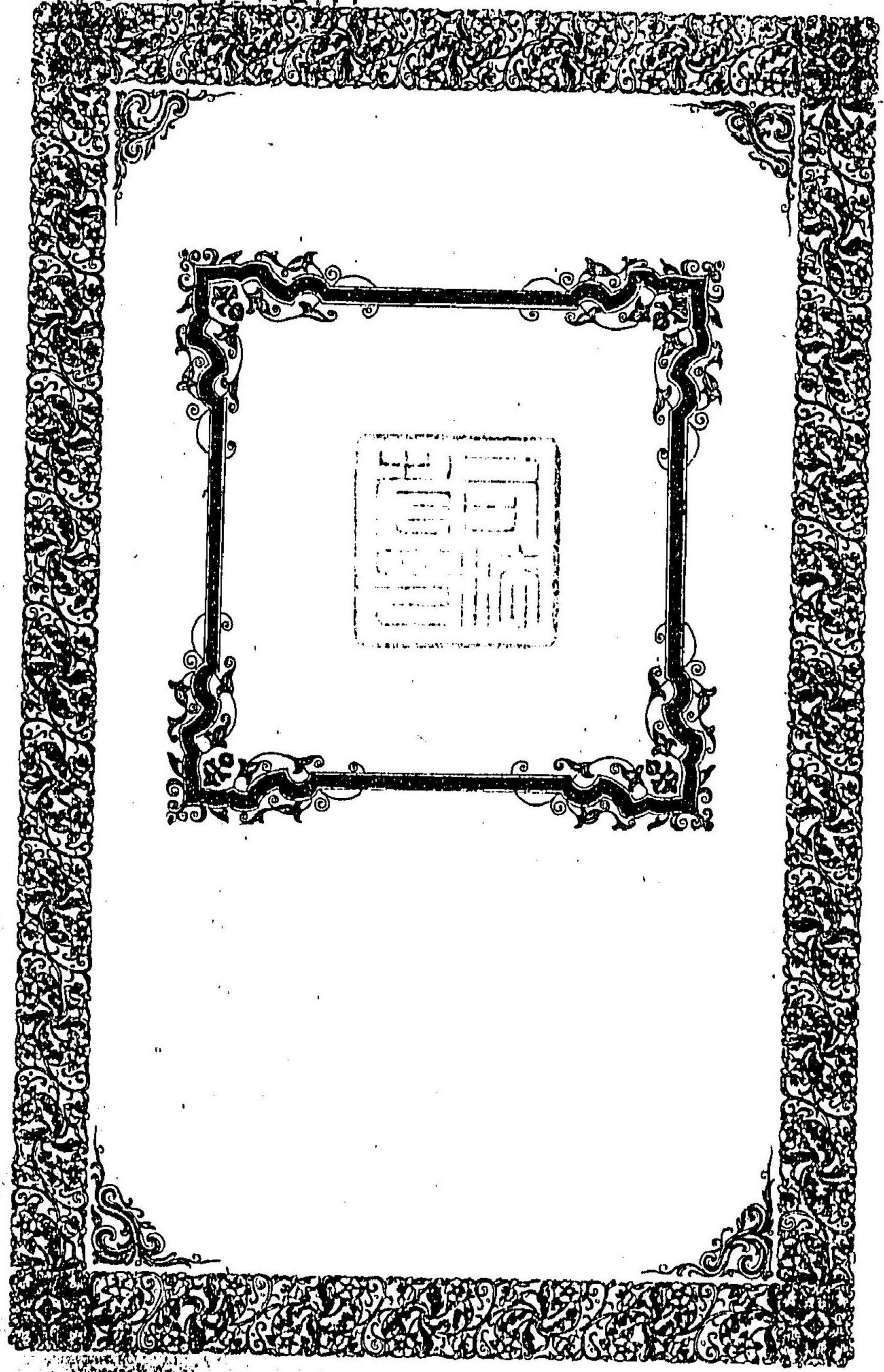


佛國大學校法律博士アラン・ド・カステラノの講義

佛國民法契約篇講義

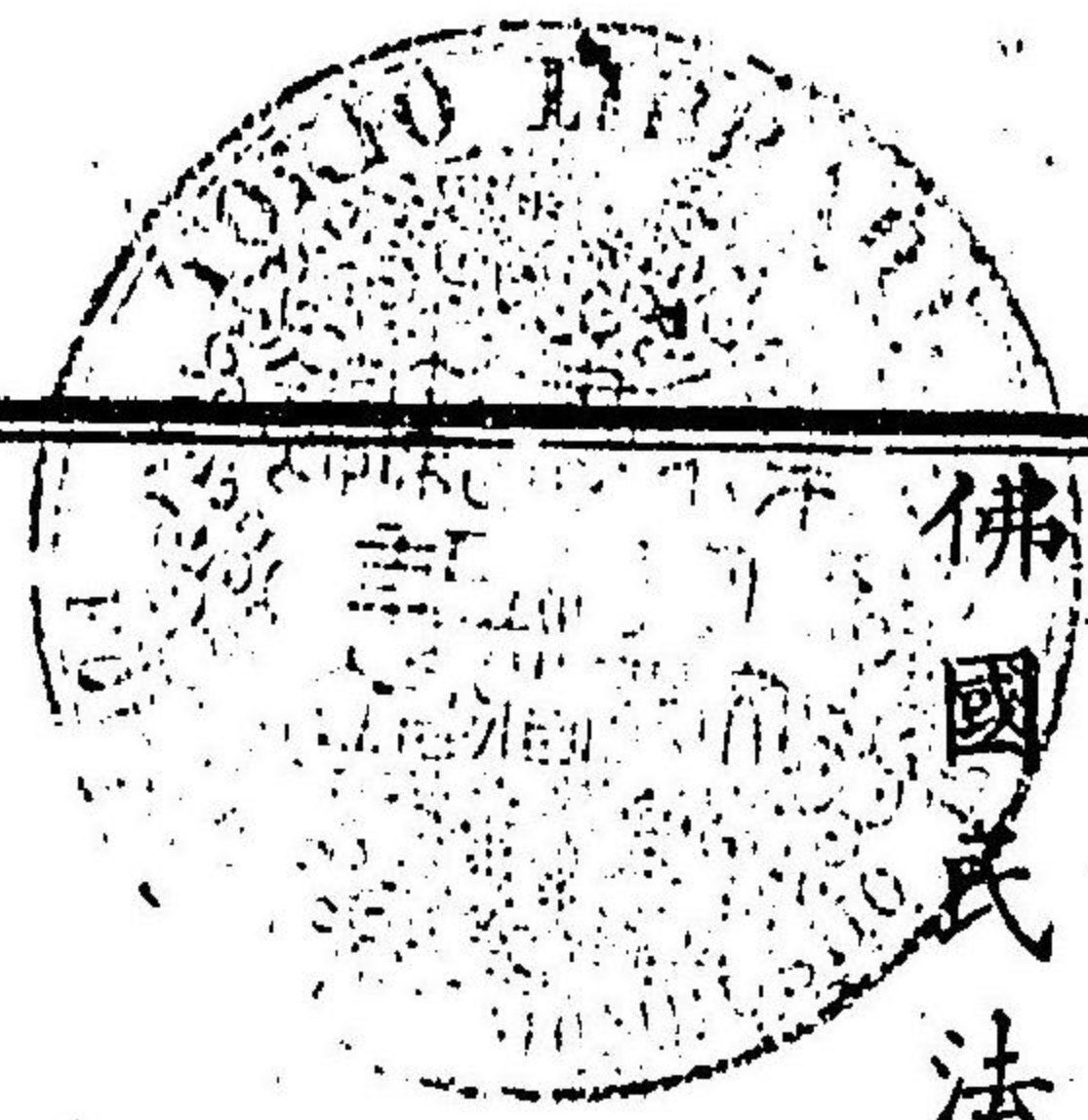
司法省藏版

東京
書館
印



東京
書館
印

特39
75



佛國民法契約篇講義卷之二

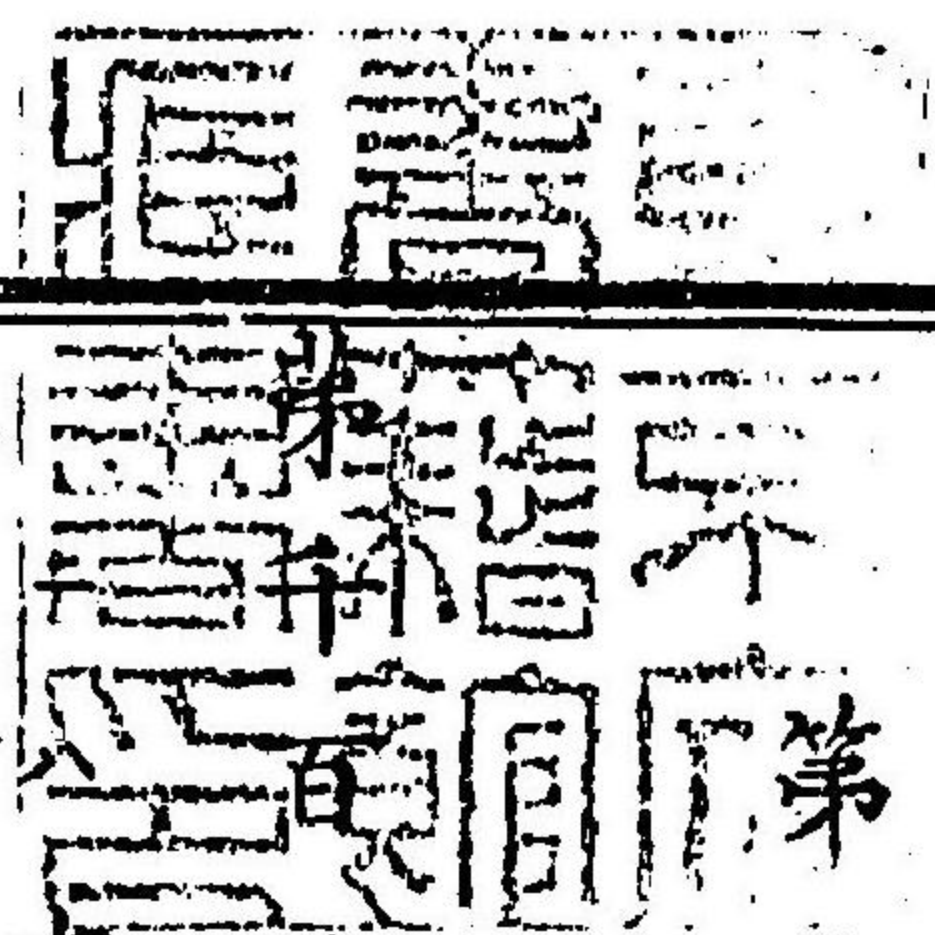
明治九年圖書寮交付

佛國法律博士

ホアソナード講義

日本權中法官

名村泰藏口譯



第二章 契約ヲ法ニ適シタルモノト爲ス

必要ナル條件

八條 契約ヲ法ニ適シタルモノト爲ス

左ノ四件ヲ必要トス

義務ヲ行フヘキ者ノ承諾

佛國民法講義

卷二

一

司法省

契約ヲ為ス者其契約ヲ結ビ得可キ事
契約ノ目的タル定マリシ事物

義務ヲ生スヘキ法ニ適シタル原由

契約ニ五ツノ根元アルト契約ノ字義ト契約

ノ部類トハ既ニ前會迄ニ説キ盡シタリ

本日ハ契約ノ効アルモノトナル條件ヲ説カン

トス

コ¹ンジシヨ¹ン¹ 條件トハ種々ノ意味アレル此處
譯ス

ニテハ契約ノ効アル模様ト云フ義ナリ

契約ハ効アル條件又ハ模様ト云フ¹ハ例¹ハハ

人ノ健康ハ飲食衣服ナケレハ健康ヲ害フト

同シ¹ニテ其模様ナケレハ契約ニナラス又

コ¹ンジシヨ¹ン¹ハ是レ丈ケノ場合ト云フ意味

ニモナル

末條ニコ¹ンジシヨ¹ン¹ト云フ文字アリ之ハ未

來ノ事ト云フ字義ナル故此所ノ意味トハ違

フナリ

民法中ニ一ツノモノト他ノモノト混雜シテス

ル處アリ此處ハ契約ノ成立ト契約ノ効アル

モノト相混シテ述テアルナリ

一 体契約ハアレバ廢スヘキモノト契約ノ根
 カラ成立サルモノト混シテアルナリ例ハ
 健康ト性命トハ別ナリソレヲ混雜スルカ如
 シ
 以下其廢スヘキ契約ト根カラ成立サル契約ノ
 區別ヲ説カントス
 契約ノ成立チノ爲メニハ以下ノ三件アルヲ必
 要トス
 契約ヲ行フヘキ者ノ承諾
 契約ノ目的タル定マリシ事物

義務ヲ生スヘキ法ニ適シタル原由
 民法第千百八條中ニハ義務ヲ行フヘキ者ノ承
 諾トノミ書マテアリ之ニテハ一方ヨリノ事
 ノミニテ雙方ノ者共ニ承諾シタルトハ書
 ヒテナシ故ニ雙方ノ承諾ト書セサルヘカラ
 ス
 承諾ハ強テ人ニ成サシムルヲ能ハス
 例ハハ一方ニテ箇様々々ノ事ヲ為サン如何
 ト云フ片即坐又ハ四五日ヲ經ル片一方ニテ
 承諾シタリト言ハ、即チ承諾ノ成リタル者

ナリ

四五日ヲ過キタリテ返答ヲ為サ、ル時ハ承諾ノ成リタリト為ス、能ハサルナリ是承諾ノ成ラサル者ナリ

契約ノ目的定マリシ事物之ハ范乎タルモノニ付テハ約束ニハナラス地所ナラハ何所ノ地所トカ品物ナラ何品物トカ米ナラハ米ト其現品ヲ指サ、レハ約束トハナラス
原由トハ例ヘハ物ヲ買フニ其代金ヲ既ニ拂フタル後其價ヲ要ムルニ己レ忘レタルヲ以テ

再々之ヲ拂フタリ然レテ之ハ義務ヲ生スヘキ法ニ適シタル原由ト云フ可カラス

甲丙ヲ殺スヘシト乙ニ頼ム其褒美ニ金若干ヲ贈ルヘシト云フ時其金ヲ贈ルヲハヨロシ併シ其金ヲ贈ルノ原由ハ惡シ乙ニ於テモ金ヲ受取ルヲハヨロシ併シ其原由ハ惡シ故ニ其契約ハ根カラ成立サルモノナリ

原由ノ事ニ付テハ一事ツ、後條ニ説キテアルユエ此所ニテハ辨ヲ費サス

以上説ク所ノ三件ノモノハ有名無名ノ契約ヲ

問ハス一件欠クレハ契約ハ成立サルモノナ
リ
贈遺ノ契約ハ上ニ説ク所ノ三件ノ外ニ仍ホ一
事ヲ加ヘサレハ其契約成立サルナリ過日説
キタル正式ノ契約是レナリ
効アル契約ト成ヌニハ更ラニ二件ヲ加ヘサレ
ハ其契約ハ効アルモノトナラサルナリ
其二件トハ一ハ契約ヲ結フ者ノ能力アルト二
ニハ承諾上詭欺ヲ受ケサルト是レナリ
以下條ヲ追ヒ承諾ヨリ能力ノトニ説キ及サン

トス
契約ノ効ト契約ノ成立トハ別ナリ
契約ノ成リ立ツニハ前ニ説ク所ノ三件ノミニ
テ成ルナリ
契約ノ効アルニハ前ニ説ク所ノ三件ノ外ニ能
カト承諾ノ不善ナラサルトトノ二件ヲ加ヘ
サルヘカラス
承諾ハ其有無ニ係ル下ニテ契約ノ効アラサル
トハ縦令ニ承諾アリトモ其不善ナルトキハ
其契約ハ廢棄スヘキモノトス

例へハ甲乙ノ咽喉ヲ刺サンヲ求ム乙之ヲ承
 諾スト雖其咽喉ハ素ヨリ刺スヘキモノニ非
 ラス故ニ此ノ如キ契約ハ効アラサルモノト
 ス其承諾ノ不善ナルヲ以テナリ
 又能力ナキ人ト契約ヲ為スニ其契約ハ正シキ
 原由ニシテ且承諾アリト雖其能力ナキ者故
 契約ハ効ナキモノトス
 本文ヲ改正スルヲ左ノ如シ
 契約ノ成リ立ツ為メニ必要ナル箇條ハ左ノ
 三件

契約ヲ結フ雙方者ノ承諾
 契約ノ目的タル定マリシ事物
 義務ヲ生スヘキ正シキ原由
 契約ノ効アルモノト為スニハ左ノ二件
 能力アルヲ
 承諾上詭欺ヲ受ケサルヲ
 右ニテヨロシ混雜ナレ
 第一款 義務ヲ行フヘキ者ノ承諾
 第千百九條 錯誤ヲ以テ承諾ヲ為シタル時又
 ハ暴行ニ因リ已ムヲ得ス承諾ヲ為レタル

時又ハ詭欺ヲ受ケテ承諾ヲ爲シタル時ハ法ニ適シタル承諾アリトセス

第千百十條 契約ヲ結フノ目的タル事物ヲ錯誤シタル時ニ非サレハ其錯誤ヲ以テ契約ヲ廢棄スルノ原由ト爲ス可カス又契約ヲ結ハント爲ス人ノミヲ錯誤シタル時ハ其錯誤ヲ以テ其契約ヲ廢棄スルノ原由ト爲ス可カラズ但シ契約ノ主要其人ニ在ルキハ格別アリトス

第千百十二條 精神ノ靜定セシ者ノ心ヲ動カ

シ其者ヲシテ其身體及ヒ財産ニ現ニ許多ノ禍害ヲ受クヘキ畏懼ノ念ヲ生セシメシ時ハ暴行アリトス

此事ニ付テハ其脅迫ヲ受ケタル者ノ年齢男女景状ニ著意ス可シ

此第千百九條ハ効アル承諾アリトセスト書テ全ク承諾ノ欠ケタルトハ云ハサルナリ如何ナル場合ヲ指テ法ニ適シタル承諾アリトセスト云ハハ○錯誤ノ場合○暴行ニ因リ己ムト得ス承諾ヲ爲シタル時○詭欺ヲ受

ケタル時○是レ等ヲ一々辨說セサルヘカラ
ス

此外ニ今一件ヲ加ヘサル可カラス千百十八條
ニ云フ(派)ノ損害ヲ受ケタルト是レナリ損害
ヲ受クルトハ承諾ノナキト云フニハアラス
其害ヲ受クルニハ必フス錯誤ナキト云フヘ
カラサレハナリ

以下錯誤ノ事ヲ說カントス錯誤ニハ物ニ付テ
ノ錯誤ト人ニ付テノ錯誤ナリト本條ニハ止
タ二個ノ錯誤而已ヲ舉ケタレ片一躰ハ五ツ

アリ

第一 契約ノ性質ノ錯誤

例ヘハ一方ニテ或ル物ヲ買ハント云フ一方
ニテハ或ル物ヲ交易セント思フトキハ是レ
契約ノ性質ノ錯誤ナリ
一方ニテハ賣買ト思ヒ一方ニテハ交易ト思
フトハ互ニ談話ヲ為ス片ハ分明ナルトナレ
片時ニ因リ文通ニテノ約束等ニハ一切ナキ
トトハ云ヒ難シ
此ノ錯誤ハ即チ承諾ノナキモノト同レ故ニ

契約ノ成立サルモノトス依テ其契約ハ効ナ
レトス之ハ止タ一方而已思考ト云フモノナ
リ

第二 契約ノ目的トナル品物ノ錯誤

例ヘハ茲ニ茶碗ニツアリ買主ハ大ナル方ヲ
買ヒタリト思ヒ賣主ハ小ナル方ヲ賣リタリ
ト思フ是レナリ

之モ亦承諾ナキモノト同シク契約ノ成立サ
ルモノナリ故ニ其契約ハ効ナシトス

第三 契約ノ原由ノ錯誤

例ヘハ甲ヨリ乙ヘ拂方規則ヲ立テ約束ヲ為
スニ其拂方ノ規則ニ於テモ間違ヒナク受取
方ニモ間違ナシト雖モ既ニ拂ヒノ済ミタル
ヲ再ヒ拂フノ約束ヲナシタルモハ拂フヘキ
ノ原由ナシ
又父生存中人ニ傷ケタルヲアリト聞キ甚々
氣ノ毒ニ思ヒ其子ヨリ傷ケラレタル人ニ其
償ヲ出サント約ス追テ其事ナキト決シタル
時又ハ實ニ傷ケタリモ其父既ニ償ヲ出シタ
ルヲ分明ナル時等ノ事ハ契約ノ原由ナキモ

ノトス故ニ其効ナシ

第四 契約ノ目的タル物質ノ錯誤

器物ヲ陶質ト思ヒ買ヒ得タルニ能ク検査ス
レハ木質ナリレ片ハ其契約ハ廢ス可キ者ト
ス

性質ハ物品中區別ヲ立ル為メナリ陶トカ玉石

トカ木トカニテ區別ヲ立ツ其性質ノ違ヒタ
ル片ハ前ニ同ク廢ス可キ契約ナリトス

思考ノ違ヒタルニ付キ何ニテモ其契約ヲ廢ス
ヘキモノトハ定ノ難シ裁判官ノ裁斷ニヨラ

サル可カラサルコアリ

例ヘハ水呑ヲ買フニ質ノ違フニアラス形又

ハ模様ノ違ヒタルノミ水呑ノ用ニ於テ差支

ナキトキハ廢スヘキ契約ニハアラス右等ノ

場合ニ於テハ裁判官ニテ能ク見極ム必ス廢

ス可キモノトハナサ、ルナリ

都合ニヨリ意度想像ノ違ヒタルトキ裁判官ニ

テ廢物トナスコアリ

例ヘハ物ヲ買フニ之ハ某ノ名家ニ久シク傳

承スル所ノ宝器ト思ヒ買ヒタリ賣主モ亦之

ヲ其宝器ナリト思ヒテ之ヲ賣リタリ然ル後
 其物ニアラサリシトキ又ハ雙方祭器ナリト
 思ヒ賣買ヲナスニ祭器ニハアラサリシキノ
 如キ是レナリ
 性質ノ違ヒニ因リテ契約ノ廢スヘキ事ニナル
 ハ正則ナリ例ヘハ箇様ノモノハ廢スヘキ者
 トス箇様ノモノハ廢スヘキモノトハナラサ
 ルノ區別ヲ説カントス
 質ノ全ク違フモノハ廢スヘキナリ質ノ違ハ
 サル時ハ必ラス廢スヘキニ非ラス例ヘハ絹

ヲ買フニ絹ニ非サレハ廢スルナリ絹ナレハ
 弱キトテ廢スルヲ能ハス
 例ヘハ織物ヲ買フニ麻カ木綿カト云フトキ
 ハ質ノ違ヒナリ強キカ弱キカト云ハ質ニハ
 アラサルナリ
 又馬ヲ買フニ英ノ産カ阿刺昆亞カ日本カト
 云フトキハ質ナリ
 又能ク走ル馬ト思ヒタルニ案外驚馬ナリ之
 レ質ノ違ヒニハナラサルナリ
 又馬ヲ買フニ英國ノ産ト思ヒタルニ日本産

ナレハ廢スルナリ
 又法律家ヲ雇フニ其人ノ學力弱キトテ廢ス
 ルヲ能ハス其學ノ全クナキ時ハ質ノ違ヒナ
 リ
 又陶器ニ厚薄アリ薄キトテ質ノ違フニ非ラ
 ス木カ石ナレハ質ノ違ヒナリ
 色ノ質ヲ極メルハ甚々難シ是等ハ裁判官ニテ
 正シク定ムルヨリ外ナシ例ヘハ夜中ニ物ヲ
 買フニ黒色ナリト思フタルニ紫ナリ是レ等
 ノ錯誤ハ質ノ違ヒカ又ハ違ヒニナラサルヤ

ヲ區分スルノ難キヲ云フ

問 區別ノ事ハ解シ得タリ原由ノ錯誤ニ付テ
 他事ヲ問ハントス前ニ説キタル親ノ生存中
 人ニ傷ケタル云々ハ廢物トナルトハ既ニ了
 ス右ノ場合ニ於テ一旦裁判上ニテ例ヘハ一
 箇年ノ間月々百圓宛償金ヲ出サント約シ既
 ニ四五月モ出シタル上右償金ヲ出ストハ原
 由ナキトノ證ヲ得タルトキハ直チニ右ノ契
 約ヲ廢セントノ訴訟ヲナストテ得ヘキヤ
 答 一ト度ヒ裁判トナリタルモノハ正シキ裁

判ナルモノト看做ス故ニ其訴訟ハ取揚ル
 ナシ但シ其原由詭欺ヨリ出テタルノ證ア
 ル時ハ非常ノ道タル敬慎^{レケトシク}ノ願書ヲ以テ其廢
 棄ヲ求ム
 又原告人ノ手ニ前キノ受取證書ノアルヲ
 被告人ニテ見出シタル時ハ非常ノ道ヲ以テ
 願出ツルナリ

問 例ヘハ椅子ヲ注文スルニ樺木ヲ用ユル契
 約ナルニ大ユニテ桐ノ木ニテ作りタル片ハ
 即チ質ノ違ヒニテ廢スヘキモノナリヤ

答 其木質原由トナルユエ質ノ違ヒニテ廢ス
 ヘキモノナリ但シ其契約ノ慥カナル證書ア
 ルニ非サレハ廢スヘキモノトハナラサルナ
 リ
 問 千百十八條ニ記スル處ノ損害ヲ受ケタル
 云々此内ニ入レサルヲ得ストハ如何ン
 答 此千百十八條ヲ千百九條ノ次ニ出ス方可
 ナリ原文此卷ノ五章第七款ニ記スル處ノ契
 約又ハ其款ニ記スル處ノ人ニ付テノ外ハ縱
 令ヒ損害ヲ受ケタリトモ其契約ハ廢スヘカ

ラストアリ

第五 契約ノ人ノ錯誤

人ノ錯誤ニテハ契約ヲ廢スルコトヲ得スト雖
 時ニ依リ廢スルコトアリ
 例ヘハ甲ヨリ物ヲ買ハント思ヒタルニ乙ヨ
 リ買フタリ其買フ所ノ物ニ於テ違ヒナキ時
 ハ廢ス可カラス
 併シ何人ト指テ契約ヲナスニ其人ヲ錯誤ス
 ル時ハ廢スヘシ例ヘハ贈遺又ハ物ヲ貸ス等
 恩惠ノ契約ニ於テハ人カ違ヘハ廢スヘキモ

ノトス

金ヲ貸スモ其中ニ入ルナリ例ヘハ甲ニ貸サ
 シト思フヲ乙ニ貸シタル時ハ廢スヘキモノ
 トス

賣買ニ於テモ通帳ニテ期月ヲ立テ、賣ルニ
 其買主ヲ取違タル時ハ廢スヘキモノナリ
 會社ヲ結フモ同様ナリ

家ヲ貸スニ借主ハ何人ヨリ借りテモ宜シキナ
 レトモ貸主ハ人ヲ撰ムナリ故ニ其人ノ違ヒ
 タル時ハ前ニ同シ

贈遺又ハ他ニ物ヲ預ケルハ人ニヨツテ為スユ
 エ其人ノ違ヒタル時ハ廢スヘキモノトス
 金銀ト家屋トヲ貸スルハ少シク違ヒアリ裁判
 官ニテ注意セサルヘカラス
 書畫ヲ賣ルニ其畫手ノ違ヒタル時ハ廢物トナ
 ル但シ其畫手ノ生存中ニアラサレハ人ノ違
 ヒニナラス其畫手ノ死後ハ其書畫ハ物質ニ
 入ル
 承諾ノ不正ト云フハ即チ暴行ニ因リ為シタル
 承諾ヲ云フ

例ヘハ甲乙ノ手ヲ押ヘ強テ契約書ヲ記セシム
 是レ人ノ手ヲ器械トナス之ハ暴行トハ云ハ
 ス全ク承諾ノナキモノトス
 又甲乙ニ對シ贈遺ヲ為スヘシ否ラサレハ我レ
 汝ヲ殺サント云フ時乙殺サレシヨリハ寧ロ
 贈遺ヲナサント思量シ承諾ヲナスハ是レ全
 ク承諾ナキモノニハアラスト雖モ不正ノ承
 諾ナリ
 暴行ノ輕重ハ粗々法律上ニ定タリト雖モ之ヲ
 上下スルノ權衡ハ詳細ニ記載セサルニ因リ

裁判官ノ裁斷ニ任ス併シ略其定メタル條件
 ハ第千百十二條以下ニ詳ナリ
 例ハ甲乙ニ對シ我レニ此家ヲ賣ルヘシ否ラ
 サレハ毎夜窓下ニ来リテ三絃ヲ彈キ喧噪シ
 テ眠リヲ妨ケント云フ是レ精神ノ靜定セシ
 者ノ心ヲ動リスヘキ重キ暴行ニハアラス
 又甲乙ニ對シ我レニ此畠ヲ賣ルヘシ否ラサレ
 ハ植物ノ中ニ惡艸ヲ蒔キ妨害ヲ為サント云
 フ是亦重キ暴行ニハアラス
 以上二件ノ如キハ其次第ヲ裁判所ハ願ヒ出

ツレハ取締ノ出来ル事ナリ故ニ是等ヲ以テ
 契約ヲ破ルノ根元トハナシ難シ
 第千百十二條ニ精神ノ靜定セシ者云々ト記載
 シアレハ尚ホ盡キル処アリ其人ノ年齢男
 女等ニ因リ夫レ々々ノ違ヒアリ此邊ノ見分
 ケハ裁判官ニテ注意スヘキトナリ
 例ハハ一婦人アリ其婦人ニ對シ某ニ贈遺ヲナ
 スヘシ否ラサレハ汝ノ面目ヲ失フヘキトヲ
 為サント脅迫スレハ婦人ハ柔弱ナルモノ故
 遂ニ其事ヲ承諾スルトアラン

第一千百十二條中ノ「許多」ノ二字允當ナラス何
 ナレハ事大ニシテ精神ヲ動カスニ足ラサル
 モノアリ事小ニシテ精神ヲ動カスモノアリ
 止々其精神ヲ動カスヘキ程ノ事ナレハ何
 テモ指スナリ故ニ此ノ二字ヲ削除スヘシ
 現ノ字ニ於テモ說アリ先ツ一例ヲ舉ケン
 例ヘハ自己ノ身体ニ傷ヲ受ルカ或ハ耻辱ヲ受
 ルカ又ハ近親ノ者ニ於テ同前ノ害ヲ受ルカ
 又ハ自己ノ財産ニ害ヲ受クル等ノ脅迫ヲ云
 フ

現ニト云フ字ノ惡シキハ未來ノ事ニモ係ル
 アレハナリ
 例ヘハ何々ノ事ヲ承諾セシムルハ汝ノ子ニ害ヲ
 加ヘン又ハ汝ノ別宅ヲ燒カント云フカ如キ
 其害ハ未來ニアレ氏其畏懼ノ念ハ其場ニテ
 直チニ起ルモノナリ
 前條現ニ許多ノ字ヲ刪定スル片ハ現在ノ畏懼
 トナシテ可ナラン
 第一千百十三條 現ニ契約ヲ結フ者ニ對シ暴行
 ヲ加ヘタルニ非スト雖氏其配偶者又ハ其尊

屬及々卑屬ノ親ニ對シ暴行ヲ加ヘタル時ハ亦其契約ヲ廢棄スヘシ
此條ニ配偶者又ハ尊屬及々卑屬ノ親ニ對シタル暴行ノミヲ舉テ傍系ノ親ニ及ハサルハ是レ法律ノ不備ナリ
夫婦父子ノ間ハ愛情ニ差等ナキヲ以テ誰ヘナリトモ暴行ヲ加ヘラル、片ハ其暴行ノミヲ以テ其契約ヲ廢棄スルモノトス傍系ノ親又ハ朋友ニ至テハ交情ノ厚薄ニ依リ裁判官其契約ヲ廢棄スル根元トナスト否ラサルトヲ

審定ス

夫婦ハ愛情ノアルモノト看做ス凡別居スル夫婦モアリ兄弟ニモ同居シテ睦シキモノモアリ然ルニ夫婦ノ和不和ハ取調ヘズ兄弟ノ和不和ハ取調フルトハ不相當ナラスヤ是レ法律ノ不備ト云フヘシ
第千百十四條 卑屬ノ親尊屬ノ親ヨリ現ニ暴行ヲ受クルニ非スシテ唯父母及々尊屬ノ親ヲ畏敬スルノミノ意ニ因リ契約ヲ結ビシ時ハ其畏敬ヲ原由トシテ契約ヲ廢棄スルトヲ

得ス

此ノ條ニ云フ如ク卑屬ノ親ヨリ尊屬ノ親ニ對シテハ尊敬ヲ加ヘサル可カラサルノ理アリ故ニ尊屬ノ親ノ威ニ畏レテ爲シタル契約ハ之ヲ原由トシテ廢棄スルヲ得ス生徒ノ教師ニ對シ又雇人ノ家長ニ對スルモ皆同シ此條ハナクトモ可ナラン

第百十一條 義務ヲ行フ可キヲ契約シタル者人ヨリ暴行ヲ受ケ己ムヲ得ス之レヲ承諾シタル時ハ其契約ヲ廢棄スヘシ但シ其暴

行ヲ爲シタル者其契約ニ因リ利益ヲ得ントスル者ト別人タル時ト雖モ又同一ナリトス甲ト乙ト契約スルニ丙乙ニ對シ甲ト契約セカレハ甲ノ爲メニ害ヲ加ヘラレン必ラス契約スヘシト云フ乙畏懼シテ契約ヲ爲シタル時ハ暴行ナルヲ以テ廢棄ニ屬ス前ノ場合ニ於テハ暴行ト詭欺トノ違ヒニテ暴行ニ因リ承諾シタル契約ハ廢棄シ詭欺ニ係ルハ廢棄セサルハ如何ナル理ナリヤ暴行ニ於テハ元ヨリ承諾アルトモ不正ノ承諾

ヲ以テ契約ヲ結フ故ニ別人ヨリ受ケタル暴
 行ニテモ亦廢棄スルナリ
 詭欺ハ全ク違フ後ニ說クヘシ
 第千百十五條 暴行ニ因リ契約ヲ結ヒタル後
 其暴行ヲ受ケシ者之ヲ明許又ハ黙許シ又ハ
 法律上ニテ其契約ヲ廢棄セント訴フヘキ定
 期ヲ經過セシメタル時ハ其暴行ヲ以テ原由
 ト爲シ其契約ヲ廢棄スルヲ得ス
 此條中ニ明許黙許等ヲ爲シタル上ハ其契約ヲ
 廢棄スルヲ得サル所以ヲ擧ケタリ

明許トハ已ニ暴行ニ依テ承諾ヲ爲シ契約ヲ
 結ヒタリト雖モ其後事理分明ニナリタル故
 契約ノ通り施行スヘキ旨ヲ認メルノ書付ヲ
 送ルヲ云フ其手順ハ第千三百三十八條ニ詳
 カナリ參照ス可レ
 黙許トハ何トモ言ハスシテ其約ヲ履ミ行フ
 ヲ云フ
 黙許ニ付テハ其約束ヲ自然ニ變換スルヲ
 リ例ヘハ十年ノ約ヲ五年ト爲スノ類ナリ
 暴行ニ依テ承諾シ其事顯ハレタル後十箇年ノ

間ハ其廢棄ヲ訴ツルヲ得ル併シ其年限中ニ訴ヲ為サ、ル時ハ黙許トナルナリ
黙許ハ聊カナリトモ其事ヲ行ヒカ、レハ黙許トナルナリ例ハ暴行ニ依リ年金ヲ約シ己ニ一々年分ヲ遣ス時ハ是レ即チ黙許ナリ
法律上ニ明許黙許及ヒ訴フヘキ定期ヲ經過スルトノ三件ニ分ツト雖モ其實ハ明許黙許ノ二件ナリ

第千百十六條 契約ヲ爲ス者ノ中甲者乙者ニ對シ詭欺ヲ爲シタルニ非サレハ乙者苟モ初

ノヨリ其契約ヲ結フヲナカル可キ事由ノ明白ナル時ハ其詭欺ヲ以テ契約ヲ廢棄スルノ原由ト為スヲ得ヘシ

詭欺ハ思料ヲ以テ定ム可カラズ必ス之ヲ證ス可シ

詭欺ト錯誤トハ相牽連スルモノナリ

錯誤中ニツノ區別アリ自カラ誤マルト他人ノ詭欺ニ因テ誤マラルト是レナリ

例ヘハ物質ニ付テ誤マリタルモノハ自カラ誤マリタルトモ法律ノ助ケヲ請フヨリ外ハナ

物質ヲ誤マリタル時ハ何レノ場合ニ於テモ法律ヲ以テ補フヲ得ルト雖モ物質ニ非ラサル錯誤ナル時ハ補フヲ能ハス若シ一方ノ者ニ於テ詭欺ヲ為レタルキハ格別ナリトス契約ノ原由トナル物質ノ錯誤ニアラスシテ自カラ契約ノ道理ヲ誤マリタル時ハ之ヲ補フノ道ナシ若シ一方ノ者ニ於テ詭欺ヲ為シタル時ハ契約ヲ廢棄スルノ原由ト為スヲ得ル

契約ヲ為スニ原由ト道理トノニツアリ原由トハ契約ヲ為サントスルノ本意ヲ云フ道理トハ其契約ヲ為スノ本意ニ就テ起ル事柄ヲ云フナリ
例へハ家ヲ買フハ其家主トナラント欲ス是レ原由ナリ其家ヲ買フニ付テハ高燥ノ地又ハ近傍ニ親族ノ住スル等ヲ撰ム是レ道理ナリ家ヲ買ヒタルニ賣主其ノ家主ニアラサル時ハ是レ物質ノ錯誤ナリ其時ハ自カラ誤ルト他人ノ詭欺ニヨリ誤ルトニ拘ハラズ其契約ハ

廢棄スルヲ得ル

又家ヲ買得シタルハ其近傍ニ親族ノ住居ス
ルト思料シタル故ナリ然ルニ其親族住居セ
スト雖モ自カラ誤マリタルキハ之ヲ以テ其
契約ヲ廢棄スルヲ得ス

甲乙ニ對シ我カ家ハ高燥ノ地ニ在リ且ツ足下
ノ親族其近傍ニ住シ又名醫モアリ足下之ヲ
買ヒ吳レヨト云フ依テ契約ヲ爲スニ其事ハ
皆ナ詭欺ニ出ツ然ル時ハ其契約ヲ廢棄スル
ヲ得ルナリ

甲ト乙トノ契約ニ付キ甲詭欺ヲ爲シタル時ニ

限リ其契約ヲ廢棄スルノ原由トナスヲ得
ルト雖モ丙ノ詭欺ニ出ツル時ハ之ヲ廢棄ス
ルヲ得ス併シ丙ヨリ其損失ヲ償ハシムルヲ
得ヘシ是レ法律ニテ補ヒタルモノナリ
詭欺ニ因テ爲シタル契約ハ不正ノ承諾ニハア
ラス併シ一方ヨリ詭欺ヲ用ヒタル上ハ他ノ
一方ノ爲メニ補ヒヲ付ケサルヘカラス其補
ハ契約ヲ廢棄スルヲ以テ最上トス
甲ト乙トノ間ニ在テハ其契約ヲ廢棄スルトモ

又ハ損失ヲ償ハシムルトモ相談ノ上勝手次第ナリ

契約ニ於テ固ヨリ廢スヘキ者ナラハタトモ外人ヨリ其間ニ詭欺ヲ行ヒタリトモ其契約ハ廢棄スルヲ得ルナリ

物質ニ付テ外人ヨリ誤ラレタルトキハ其契約ヲ廢棄スルヲ得ル何トナレハ物質ノ違ヒニ付テハ固ヨリ廢棄スヘキモノナレハナリ

例ヘハ物ヲ買フニ價ノ高下等ニ於テ詭欺ヲ用ヒタリトモ其契約ヲ廢棄スルヲ能ハス

前條中己ニ詭欺ノ事アリ此條ニハナクトモ然

ランカ

固ヨリ此條ノ補ヒナケレハ廢棄スルト云フナシ

例ヘハ甲家一軒ヲ有ス之ヲ賣ルノ意ナシ時ニ

乙來テ云フ早ク賣ルヘシ否ラサレハ人民公

益ノ為メニ取拂トナルヘシ甲思料スルニ公

益ノ為メニ取拂ヒトナルニハ償ヒアリト雖

凡充分ナラス如何ナサントヒニ相談ス乙曰

ク我ニ賣ルヘシ我レ官吏ニ依托シテ都合ヲ

爲ス可レト故ニ其家ヲ賣リタリ然ルニ其事
 皆ナ詭欺ニ出テ、取拂ヒニナラス是レ其原
 由ハ金ヲ得ント欲スルニ在リト雖其道理
 ハ乙ノ詭欺ヲ受クルニ因ル故ニ此ノ契約ハ
 廢棄スヘキモノトス若シ此事外人ノ詭欺ニ
 出ル時ハ其契約ハ廢棄スルコトヲ得ス只償ヒ
 ヲ取ル迄ナリ

佛國ニ於テハ前條ノ事ニ付キ二說アリ若シ其
 家ヲ乙ヨリ丙ヘ轉賣シタル時ハ甲ヨリ乙ヘ
 對シ其家ノ取戻シヲ訴フル事ヲ得ヘキヤ

第一千百十六條ニ契約ヲ廢棄スルコトヲ得ルノ本
 文アレハ縱令ヒ轉賣スト雖其取戻シヲ訴
 フルコトヲ得ル是レ一說ナリ

又詭欺ニ因テ誤ラレタルハ償ヒニテモ濟ムコト
 ナリ不正ノ承諾ト云フニアラス丙ハ詭欺ノ
 コトヲ知ラスレテ買フタル者ナレハ甲ヨリ丙
 へ對シ物主ノ權ヲ争フコトハ出来サルナリ是
 レ亦一說ナリ
 夫アソナード曰之ハ元來不正ノ契約ニアラス
 唯詭欺ニ出ルノミコトナレハ其償ヲ求メテ

足ル丙ハ其詭欺ノヲ知ラスシテ買ヒタル者ナリ知ラスシテ買フタル者ニ迷惑ヲカルルノ理ナシ故ニ取戻シテ訴フルヲ得サル方然ルヘシ

甲永ク其家ニ住居セント欲スルヲ乙ノ詭欺ニ因テ其家主タルヲ失フニ至ル是レ償ニテ濟マサルヲナラスヤ

永ク其家ニ住居セント欲スルハ是道理ナリ金ヲ得ント欲スルハ是原由ナリ直ニ生スル原由ヲ置テ其先キナル道理ノ爲ニ取戻ヲ言フ

トハヨロシカラサルナリ

ボアツナード曰仍ホ我カ思フ所ヲ述ヘシ

人民公益ノ爲メニ取拂トナルヲ新聞紙ニテ承知シ我カ家モ其取拂ノ中ナリト思ヒ賣却シタリ然ルニ其家ハ取拂ニ至ラス其誤リハ一方ノ者ヨリ誤マラレタルモ新聞紙ニテ誤マリタルモ皆ナ同一ナリ是レ決シテ不正ノ承諾ニハアラス必ラス承諾ハ爲シ居ルナリ一方ノ者ヨリ誤マラレタルハ其償ヒテ取ル

ヲ得ヘシト雖モ新聞社ヨリハ償ヲ取ルヲ能ハサルヘシ

前條ノ場合ニ於テハ取戻シヲ爲スヤ又ハ償ヲ出サシムルヤ此ノ二ツノ中現地何レニ隨フ

ヤ

全躰取戻シヲ為サスモ苦シカラスト云フハ學者ノ說ナリ現地ハ取戻シヲ為ス

又此條理ト違ヒ損害ノ多キ上ヨリ論ヲ立テ取戻シヲ得セシムルヲアリ其所以ハ格外ノ廉價ニテ元價ノ半價以下ナル時ハ其契約ヲ

廢棄スルヲ得ヘシ

此條第二項詭欺ハ思料云々此項削リ去ルヘシ

何トナレハ暴行ニ於テモ其證ナケレハ契約

ヲ廢棄スルヲ能ハス若シ此項ヲ存スル時ハ

各條ノ下ニ同文ヲ舉ケサルヲ得サルナリ

ブレスクリプレヨンノ如キハ其條下ニ舉ゲザ

ルヲ得ズ何トナレハ情ヲ知ラスレテ買ヒタ

ルトキハ十年ヲ以テブレスクリプレント

シ不正ノ契約ナレハ三十年ヲ以テブレスク

リプレントスルカ如キ各其年數ニ差ヒア

レハナリ

第千百十七條 錯誤、暴行、詭欺ニ因リ結ビタル
 契約ト雖モ其儘之ヲ廢棄ス可カラス唯此卷
 ノ第五章第七款ニ記載スル所ノ場合ト方法
 ニ循ヒ之ヲ廢棄スヘキノ訴ヲ爲ストヲ得ヘ
 シ

此條別ニ疑義ナシ錯誤、暴行、詭欺ニ因リ結ビタル
 ル契約トテモ其儘廢棄スヘカラス此卷ノ云
 ヲ依テ訴ヘタル上裁判上ニテ廢棄スヘシ
 ト云フトナリ其訴訟ヲナスノ法方ハ民法千

三百四條以下参照ス可シ

第千百十八條 契約ヲ結ビタル一方ノ者其契約
 ノ爲メ損害ヲ受クル事アリト雖モ其契約
 ヲ廢棄ス可カラス但シ此卷ノ第五章第七款
 ニ記スル所ノ契約又ハ其款ニ記スル所ノ人
 ニ付テハ格別ナリトス

此條ハ契約ノ爲メ損害ヲ受クルト雖モ此卷
 第五章第七款ニ記スル處ノ外ハ廢棄スヘカ
 ラサルヲ云フナリ

第千百十九條 何ノ人ト雖モ總テ自己ノ爲メ

ノ外自己ノ名義ヲ以テ契約ヲ為ス可カラズ
 此條ハ一般ノ為メニ立タルモノナリ然ルニ第
 千百二十條及々千百二十一條直ニ此條ノ反
 對ヲ説ク故ニ獨立ノ力ナキモノナリ
 此條ノ譯ニハ自己ノ為メノ外自己ノ名義ヲ以
 テ契約ヲナスヘカラストノミアリ原書ニ依
 レハ他人ノ為メニ自己ノ名義ヲ以テ約束ヲ
 ナシ又ハ人ヲレテ約束ヲ為サシムルヲ能ハ
 サルノ両意トス
 此條ノ意ハ人ノ代理ノ任ヲ受ケスレテ人ノ為

メ契約ヲ為スヘカラス何トナレハ其契約ノ
 名宛ノ者ニテ損害ヲ受クル故ナリ尤モ人ノ
 代理ヲ受ケタル者ハ格別ナリトス
 例ハ甲ヨリ乙ニ對シ丙ニ金ヲ贈レト云フ元
 來乙ハ丙ヨリ金ヲ借リタルニモアラス又甲
 ハ丙ヨリ其契約ヲ為スノ代理ヲ受ケタルニ
 モアラス全ク其所以ノナキヲ故契約ニハナ
 ラサルナリ
 又甲ヨリ乙ニ對シ明日雨降リタラハ金ヲ與フ
 ヘシト約ス元ト雨ノ降ルト降ラサルハ關係

ノナキヲナリ故ニ契約ニハナラス是レ即チ
目的ノ定マラサル契約ナレハナリ

第一千百二十條 然ルモ甲者ハ丙者ヨリ乙者ニ對

シテ行フ可キ義務ノ保證人トナルノ契約ヲ

爲ストヲ得ヘシ但シ丙者其義務ヲ行ハサル

時ハ乙者其保證人タル甲者ニ對シ償ヲ求ム

ルヲ得可シ

此條ハ前條云フ所ノ外保證人トナルトハ出

来ルト云フナリ且ツ條意ニ二ツノ區別アリ

例ハ甲乙ニ對シ丙ニ此約束ヲ遂ケシム可キ

保證ヲナス丙其約束ヲ遂クレハ夫ニテ濟ム

ナリ

又甲乙ニ對シ丙ニ此金ヲ拂ハシムヘキノ保

證ヲ爲ス丙其金ヲ拂ハサル時ハ甲自カラ其

金ヲ乙ニ拂ハサルヲ得ス

例ハ甲丙ノ爲メニ家ヲ探索スルニ乙家ヲ貸

サントスルヲ聞キ行テ下見シ必ラス丙ニ借

ラシメント約シ丙ヲシテ一見セシム其時丙

之ヲ認ルキハ甲ノ保證ハ解ケルナリ若シ之

ニ反シテ丙其家ヲ好マストテ認メサル時ハ

甲ヨリ乙ニ對シ償金ヲ出サ、ルヲ得ス
 又前條ノ場合ニ於テ丙其家ヲ借ル時若シ其貸
 銀滞ル時ハ甲ヨリ拂ス可キノ保證ヲナス後
 テ滞リタル時ハ甲ヨリ乙ヘ其貸銀ヲ拂ハサ
 ルトヲ得ス
 千百十九條ハ千百二十條ニ於テ取除ケトナル
 ハ其契約書ニ姓名ヲ記載セストモ其契約ノ
 證トナルヘキ實際アレハ必ス其モノヲ證人
 ト爲シテ損害ヲ償ハシム故ニ千百十九條ハ
 用ヲナサ、ルナリ

佛國ニテハ人ノ事ニ関ルニハ必ラス其責ヲ負
 フ積リニテスルトナリ故ニ其事ニ關カリタ
 ル後我ハ證人ニアラスト云フトモ必ラス損
 害ヲ償フ等ノ責ヲ免クル、ト能ハス何トナ
 レハ其責ヲ負ハサルモノ、其事ニ關カルノ
 理ナケレハナリ第千百五十七條見合スヘシ
 契約ノトニ關與シ同ク證人トナリタルニ輕ト
 重トノ二事アルニ其證書ノ文意ニ様ニ見ユ
 ル片ハ必ス輕キ方トナス
 却テ第千百十九條ヲ説ク

前ニ説ク處ハ約束ヲナストナリ是ヨリ約束ヲナサシムルヲ説ク可シ

例ヘハ甲ヨリ乙ニ對シ丙ヘ贈遺ヲ爲スヘシト云フ是ハ契約ニナラサルナリ

此場合ニ於テ乙ニテ丙ヘ物ヲ與ヘストモ甲ニテ乙ヨリ償ヲ求ムルトモナラス丙ヨリ償ヲ求ムルトモナラサルナリ何トナレハ甲ニ

テ丙ヘ關係モナク乙ヨリ甲ヘ關係モナタレハナリ

一体契約ヲナスニハ承諾ト目的ト正シキ原由

ト自分ノ為メトノ四ツ揃ハサレハナラヌモノナリ

契約ハ利益ノ爲メニスルモノナルユエ利益ナケレハ則原由ナキナリ

例ヘハ前ニ説ク處ノ場合ニ於テ乙ヨリ丙ヘ物ヲ贈ラサルトキ甲ニテ訴ヘント欲スルトモ

訴フヘキ原由ナシ然レトモ其事ニ付キ丙ノ利益トナルトアルトキハ前ニ反シテ其契約

ハ正シキモノトナルナリ又乙甲ノ家ヲ建築スルヲ請負フニ丙乙ニ對

シ甲ノ家ヲ我ニ建築サセヨト云フ乙之ヲ許
ス其後丙乙ノ請負約定ニ違フトキハ甲ヨリ
訴フルヲ得ルナリ

第一千二百一十一條 甲者自カラ乙者ト結ノ所ノ
契約又ハ甲者ヨリ乙者ニ爲ス所ノ贈遺ニ付
キ丙者ノ利益トナル可キ契約ヲ爲サント欲
スル時ハ之レヲ爲ストヲ得ヘシ但シ此場合
ニ於テ丙者其契約ニ因リ己レノ利益ヲ得シ
ト欲スル旨ヲ述フル時ハ甲者其契約ヲ廢棄
ス可カラス

甲者自カラ乙者ト結フ處ノ云々トハ則前ニ
説ク處ノ家ヲ建築スル云々ト同一ノ意味ナ
リ

甲者ヨリ乙者ニ對シ贈遺云々トハ假令ハ甲ニ
テ乙ヨリ家ヲ買ヒタリ其金ハ丙へ年々ニ拂
ヒ呉レヨト云フ是レ家ヲ買フハ主タル契約
ナリ金ヲ拂フハ從タル契約ナリ萬一甲其契
約ヲ行ハサル時ハ啻償ヲ出スノミナラス其
契約ハ解除スルニ至ルヘシ
人ノ家ヲ取リテ其代リニ金ヲ贈ル

以上三箇條ハ法ニ適シタル契約トス故ニ違約トナリタル時ハ訴フルヲ得ヘシ
右ノ場合ニ於テハ丙ハ契約ヲナササル故訴フルヲ得スト雖モ乙ハ催促スルヲ得ルナリ
此場合ニ於テ丙者云ヤトハ例ヘハ甲乙ヨリ家ヲ買フ為メニ丙ノ利益トナル時丙未タ其事ヲ知ラサレハ其相談ニ關ラシメサルヲ得ルト雖モ丙既ニ其事ヲ知リタル上ハ其相談ニ關カラシメサルヲ得ス然レモ丙ヨリ裁判

所ヘ訴フルヲ得サルナリ
第千百二十二條 契約ヲ爲シタル者ハ自己ヲ為メト其遺物相續人並ニ代權人ノ為メトニ其契約ヲ爲シタルモノト看做ス可シ但シ契約書ノ文中ニ之ニ反シタル事ヲ記シタル時又ハ其契約ノ模様ニ因リ之ニ反シタル事ヲ推知ス可キ時ハ格別ナリトス
相續人ハ關係アルモノナリ代權人モ關係アル者ナリ債主等ハ代權人ノ中ニ入ル
例ヘハ甲ト乙ト爲ス所ノ契約ニ於テハ自己

ノ爲メカ子孫ノ爲ル代權人ノ爲メカニ
タルモノト看做スト云フナリ故ニ甲死ス
ル時ハ其子孫ニテ其責ヲ受ケサルヲ得サル
ナリ

佛國民法契約篇講義卷之二終

御用御書物師

日本橋西河岸町

須原 鏡二

淺草茅町二丁目

北澤 伊八

賣弘所



民法契約篇講義

二

特39

75

本

館書圖京東	
函 四 一	門 新
架 二	部 一 一
號上九九四	類

034430-001-7

特39-75

民法契約編講義

卷2-4

ボアソナード/述

M9

BBL-0986

